

2013年6月3日  
株式会社日本コンタクトレンズ

**(株)日本コンタクトレンズ、アイミー(株)を買収し、  
コンタクトレンズ事業およびケア用品事業を継承**

株式会社日本コンタクトレンズ(本社・名古屋市中川区好本町3-10、社長・水谷純)は、コンタクトレンズおよびレンズケア用品の販売を行っているアイミー株式会社(本社・横浜市磯子区東町15-32、社長・丹羽正和)の発行済全株式を、クーパービジョン・ホールディングス・ジャパン株式会社(本社・東京都渋谷区恵比寿2-36-13、社長・中田博之)から取得することにつき、クーパー社と合意に達し、5月31日に株式譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

この株式譲渡により、クーパー社の会計年度の第4四半期(2013年8月~10月)中に予定している株式譲渡実行日をもって、アイミー社は日本コンタクトレンズ社の100%子会社になります。日本コンタクトレンズ社は、アイミー社のコンタクトレンズ販売事業ならびにレンズケア用品販売事業を継承し、アイミー社を通じてこれまでと同様に製品を供給いたします。

日本のコンタクトレンズ市場においては、コンベンショナルコンタクトレンズ(使い捨てタイプではないコンタクトレンズの総称)の需要が長期的に減少しており、この厳しい市場環境の中、アイミー社のコンタクトレンズ製品を製造してきた旭化成アイミー株式会社(本社・宮崎県延岡市中川原町5-4960、社長・元田勝人)は、今年11月末をもって生産を終了し、コンタクトレンズ製造受託事業から撤退することを発表しました。日本コンタクトレンズ社は、この製造受託事業を製造設備やノウハウなどを含めて引き継ぎ、宮崎市内にある同社工場に移設して生産を継続いたします。

また、アイミー社はクーパービジョン・ジャパン株式会社(本社・東京都渋谷区恵比寿2-36-13、社長・中田博之)と特約代理店契約を締結し、従来から引き続いてクーパービジョン・ブランドの使い捨てコンタクトレンズ製品の販売も行っております。

以 上